新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、入学者選抜の実施方法を一部変更しました。
受験者は、原則として従来通りの「対面式」か、来学不要の「非対面式」かを選択して出願します。出願後、受験方式の変更はできません。

ｺﾝﾎﾟｰｻﾞｰ=ﾋﾟｱﾆｽﾄｺｰｽ、作曲「芸術音楽コース」、作曲「ミュージック・メディアコース」、管・打楽器の課題に変更がありました。（2020 年 9 月 16 日更新）
演奏動画提出期間を 10 月 1 日(木)～11 月 4 日(水)までに延長しました。
（2020 年 9 月 30 日更新）

2021 年度

入学試験募集要項

外国人留学生選抜

東京音楽大学

■2021 年度 東京音楽大学 外国人留学生選抜　募集要項

１．募集学部・学科（専攻）および募集人員

東京音楽大学 音楽学部 音楽学科			
専攻	区分	楽器	募集人員
声　　楽	声楽芸術		若干名
器　　楽	鍵盤楽器	ピアノ、ピアノ演奏家コース、ピアノ・創作コース、 コンポーザー=ピアニストコース、チェンバロ、オルガン	
	弦 楽 器	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ、クラシックギター	
	管 楽 器	フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、 トランペット、トロンボーン、バス・トロンボーン、テューバ、ユーフォニアム	
	打 楽 器	ティンパニ、小太鼓、マリンバ	
作曲指揮	作　　曲	「芸術音楽コース」 「ミュージック・メディアコース」	
	指　　揮		
音楽文化教育			

注意事項

①併願をすることはできません。

②本学への入学時期は、2021 年 4 月です。

③授業は、日本語で行われるので、十分な日本語能力が必要です。

なお、本学は予備教育としての日本語教育機関は設置していません。

注意　本学一般選抜（A日程）の受験も合わせて検討されている方は、大学入学共通テストへの出願を忘れずにしてください（詳しくは大学入学共通受験案内や大学入試センターホームページで確認してください）。

※上記に代わるものとして、以下のいずれかの資格を利用できる。出願時に証明書の原本を1種類提出すること（文部科学省が公表した CEFR との対照表「A2」以上）

- ケンブリッジ英語検定
- 実用英語技能検定試験
- GTEC
- IELTS(Academic)
- TEAP
- TEAP CBT
- TOEFL iBT®

２．出願資格

以下に掲げる条件をすべて満たす者とします。

(1)外国籍を有し、外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者（2021 年 3 月修了見込み者含む）又はこれに準ずる者で、日本国文部科学大臣の指定した者。

ただし、在留資格「永住者」を除く。

(2)「日本語能力試験（JLPT）」N2 以上を取得している者。

(3)入学後「留学」の在留資格に変更できる者で、出願時に経費支弁能力を証明する書類を提出できる者。

３．選考方法

一般選抜（A日程）に準ずる。詳細は 10 ページ以降の「課題」を参照してください。

４．入学検定料

38,000 円

出願期間内に Web 出願サイトから決済手続きをしてください。お支払い完了後に決済完了メールが送信されます。

５．日程一覧

出願期間	2020 年 10 月 1 日(木)～10 月 9 日(金) 消印有効	
試験日程	2020 年 11 月 28 日(土)～29 日(日)	コンポーザー=ピアニストコース 作曲「芸術音楽コース」 作曲「ミュージック・メディアコース」 指揮
	2020 年 11 月 29 日(日)	上記以外の専攻
合格発表	2020 年 12 月 8 日(火)13:30～12 月 10 日(木)17:00　本学ホームページにて発表 *電話等での問い合わせには応じられません。	
入学手続期間	2020 年 12 月 9 日(水)～12 月 18 日(金) 消印有効	

6．出願手続

(1)出願の流れ

今年度より、出願方法は Web 出願のみとなりました。本学ホームページの「入試案内(学部)」にある「出願ガイド」内の「出願情報の登録」より、下図手順に沿って出願を行ってください。

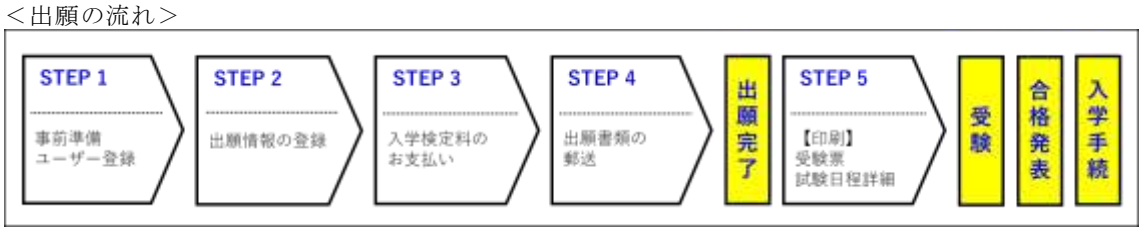
※出願書類の郵送を終えて出願完了となります。

＜「出願ガイド」、「出願書類ダウンロード」など Web 出願に必要なページの掲載場所＞

入試案内(学部)

https://www.tokyo-ondai.ac.jp/examinee/exam

＜出願の流れ＞



STEP 1

① Web 出願にあたっての事前準備(詳しくは「出願ガイド」をご覧ください)

- □ パソコン、タブレット、スマートフォン
- □ メールアドレス
- □ プリンター*
- □ PDF 表示・印刷ソフトウェア
- □ 本人写真(カラー写真データ)

*自宅にプリンターがない場合、コンビニエンスストア等のマルチコピー機を使用してください。

② 「出願ガイド」からユーザー登録を行う

同サイト内の「Web 出願サイトはこちら」からユーザー登録を行ってください。

※本学受験講習会で登録をしている方は再登録不要です

(「出願ガイド」:https://www.tokyo-ondai.ac.jp/webentry/)

③ 出願書類を確認・準備する

募集要項に記載されている必要な書類を確認・準備してください。

STEP2

「出願ガイド」から出願情報の登録を行う

募集要項、「出願ガイド」を確認した上で、同サイト内の「Web 出願サイトはこちら」から出願登録を行ってください。

STEP 3

入学検定料のお支払い

「コンビニエンスストア」、「クレジットカード」、「Pay-easy」で期限までに検定料をお支払いください。
※検定料のほかに支払手数料が必要です。

STEP 4

出願書類の印刷・記入および出願書類郵送

①Web 出願サイトから志願票・宛名ラベルをダウンロードし、ページの拡大縮小はせずに A4サイズで印刷してください。
②本学ホームページ「入試案内（学部）」から「出願書類ダウンロード」を選択し、受験する入学試験の必要書類を印刷・記入してください。「出願書類チェックリスト」を使用して、出願書類が全て揃っているか確認し、他の書類と一緒に提出してください。
（「出願書類ダウンロード」：https://www.tokyo-ondai.ac.jp/examinee/exam）
③レターパックライトを使用して、表面に宛名ラベルを貼り、出願書類を郵送してください。
※レターパックはポスト投函できますが、出願期限最終日に郵送する場合は、郵便局の窓口に出すことをお勧めします。

郵送をもって出願完了となります。

STEP 5

受験票・試験日程詳細の印刷、試験当日は受験票を持参する

出願書類の確認後、東京音楽大学から「受験票印刷のお知らせメール」が届きます。
受験票の記載事項が志願票に入力した内容と一致しているか確認してください。
メールの案内に従って「受験票」を印刷し、受験票は試験会場に持参してください。
また、試験当日のスケジュールについてお知らせを送信します。内容をご確認のうえ、受験するようにしてください。

(2)出願書類一覧

以下の該当する書類を一括して、宛名ラベルを貼付けの上、「レターパックライト」で郵送してください。なお、以下の書類は上記「A.Web 出願サイト」または「B.出願書類ダウンロード」よりダウンロードし印刷してください。

（「出願ガイド」内「Web 出願サイトはこちら」からアクセス）

A. Web 出願サイト（ユーザー登録・出願情報の登録、志願票・宛名ラベル印刷）
https://lsg.grapecity.com/tokyo-ondai/App/Account/login

B. 出願書類ダウンロード
https://www.tokyo-ondai.ac.jp/examinee/exam

	出願書類		注意事項
1	志願票	上記Aの URLから印刷 してください	検定料支払い手続き完了後印刷してください。 **（拡大・縮小せずA4で印刷）** **※カラー印刷してください。**
2	宛名ラベル （レターパック仕様）		書類を郵送する際にレターパックに張り付けて使用してください。 **（拡大・縮小せずA4で印刷）** **※カラー印刷してください。**
3	曲目記入票		外国人留学生選抜の様式をダウンロードしてください。 **「対面式」・「非対面式」の様式より、該当する曲目記入票を提出してください。**
4	個人調査書	上記Bの URLから印刷 してください	外国人留学生選抜の様式をダウンロードしてください。 【学歴】:小学校入学から現在にいたるまでの学歴を全て記入してください。専門学校、大学等の在籍歴も全て記入してください。日本語学校、予備校、塾など、日本の大学進学のために通学した教育機関も、日本国内外問わず、漏れなく記入してください。 学校名は、証明書等に記載される正式名称を記入してください。 入学年月・卒業年月は証明書に記載されたものと同様の年月を記入してください。 【現在在学中の学校】:出願時点で学校に通っている場合は学校名、所在地、電話番号を記入してください。出願時点で学校に通わず、留学準備中の場合は、「□留学準備中」の□欄にチェック(✓)してください。 【職歴】:現在までの職歴(兵役を含む)について年代順に全て記入してください。アルバイトは含みません。 【志望動機】:必ず記入してください。
5	**同意書**		**「非対面式」受験者のみ提出**
6	出願書類チェックリスト		出願書類を郵送する前に各書類が揃っているかチェックし、出願書類と共に提出してください。
7	**課題(作品提出)** **■コンポーザー＝ピアニストコース** **■ピアノ・創作コース** **■作曲「芸術音楽コース」** **■ミュージック・リベラルアーツ専攻(作曲)**		**該当者のみ提出。製本不要。** **出願書類に同封できない場合は、別送可。**
8	**演奏実技動画**		**「非対面式」受験者のみ提出。USB、Blu-ray、DVD、YouTubeのいずれかの 方法で提出してください（p.6参照）。** **提出期間は10月1日(木)から11月4日(水)までです。**
9	出身高等学校の卒業(見込)証明書		出身高等学校発行のもの(コピー不可)。 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格(フランス共和国)取得者は当該試験等の成績証明書をもって調査書に代えます。なお、日本語もしくは英語の証明書を提出してください。それ以外のものは、大使館、領事館、日本語学校等の公的機関が発行した日本語の翻訳も一緒に提出してください。発行した公的機関の公印がない翻訳は受け付けません。
10	出身高等学校の成績証明書		
11	パスポートのコピー		氏名・生年月日・パスポート番号・写真・有効期限のページをA4サイズの用紙にコピーして提出してください。ビザのページではありません。
12	「日本語能力試験合否結果通知書」または「認定書」のコピー		「日本語能力試験(JLPT)」N2 以上の証明書を提出してください。 証明書を提出できない場合は、入試課(TEL 03-6455-2754)までお問合せください。

13	在留カードのコピー又は住民票	日本国内在住者のみ、提出してください。 ①居住する区・市役所で発行される出願時に有効な在留カードのコピー又は住民票を提出してください。 ②在留カードのコピーを提出する場合は、裏面に記載事項がなくても、必ず表・裏両面をA4 サイズの用紙にコピーしてください。 ③住民票を提出する場合は、在留資格・在留期間・在留期間満了日の記載を含むもので、出願時の 3 ヵ月以内に発行されたものを提出してください。
14	伴奏譜	「対面式」の声楽、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスの志願者は伴奏譜を出願書類に同封してください。伴奏譜の作成方法は 23 ページ「伴奏譜の提出について」を参照してください。
15	創作曲楽譜	ピアノ・創作コース志願者のみ提出してください(23 ページ参照)

志願者情報入力に関する注意

志願者氏名	パスポート、在留カードあるいは住民票に記載の氏名〔姓(Family Name)名(First Name)の順に〕をアルファベットで入力してください。フリガナについては、 通常使用する読みをカタカナで入力してください。
年齢	出願時の年齢を入力してください。
性別	男、女のいずれかを選択してください。
出生地	出身国名と都市名を入力してください。
志願者現住所	「□日本国外在住」の場合は□欄にチェック(✓)を入れてください。現住所を日本語または英語で入力してください。マンション・アパート名、部屋番号、○○様方等まで必ず入力してください。 入学手続書類の送付先となります。誤記や不備のないよう十分注意してください。 また、確実に連絡がとれる電話番号を必ず入力してください。出願書類等について緊急に連絡する場合があります。 ＊日本国内在住者は、在留カード又は住民票に記載されたものと同様の住所を入力してください(在留カードに現住所が反映されてない者は、必ず新しい住居地の市区町村に届け出てください)。
本国住所	アルファベット表記で入力してください。マンション・アパート名、部屋番号等まで必ず入力してください。
写真貼付欄	カラー、正面上半身脱帽、縦 4:横 3 の比率で、3 ヵ月以内に撮影したものを Web 出願サイトにアップロードしてください。 眼鏡等の有無は問いません。
在留資格	日本国内在住者のみ入力してください。 「留学」、「その他」のいずれかを選択し、「その他」の場合は現在の在留資格を入力してください。
在留期限	日本国内在住者のみ入力してください。 在留カード又は住民票に記載されている在留期限を西暦で入力してください。
上陸年月日	日本国内在住者のみ入力してください。直近の上陸許可年月日を入力してください。 パスポート貼付の上陸許可シールで確認してください。
パスポート番号	パスポートに記載されているアルファベットおよび番号を入力してください。
保護者	保護者は原則として、父母とします。志願者が 20 歳以上の場合も必ず入力してください。 住所は日本語又は英語で入力してください。日本国外在住の場合は、指定の入力欄に入力してください。 また、電話番号は国番号から入力してください。
緊急連絡人 (日本国内)	緊急連絡人は、日本語能力が十分で志願者に詳しく、日本国内に在住している者とします。 住所は日本語で入力してください。
日本語能力試験	「N1」、「N2」のいずれかを選択し、取得年を西暦で入力してください。

(3)演奏動画撮影上の注意（非対面式受験者のみ）

<table>
<tr><td>撮影機材</td><td colspan="2">スマートフォン、タブレット、パソコン、家庭用ビデオカメラ等、1台で撮影すること。
外付けマイク、照明の使用可。</td></tr>
<tr><td>撮影上の注意</td><td colspan="2">１．本学受験のために新たに撮影すること。
２．譜面台、楽器で顔や手が隠れないよう撮影機材を三脚等で固定した上、1点から切れ目なく撮影すること。ただし、打楽器は課題（演奏楽器）ごとに一旦停止して、カメラの位置や向きを変更してよい。
３．演奏以外の音が入らない環境で撮影のこと。演奏者のみの映像であること。
４．演奏前に氏名を述べること。お辞儀不要。
５．演奏後10秒ほどしてから撮影を止めること。
※録画と録音が別撮りされているもの、音の加工や置き換えなど編集されているものは一切認めない。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">実技別の注意
（各専攻共通）</td><td>声楽</td><td>■上半身と顔がはっきり映るように撮影すること。
■冒頭で氏名を述べ、課題曲表から1曲、自由曲1曲を続けて暗譜で演奏すること。やむを得ない場合は、伴奏なしでもよい。</td></tr>
<tr><td>ピアノ</td><td>■グランドピアノまたはアップライトピアノでの演奏に限る（電子ピアノ不可）。
■演奏者の顔（横顔）と手の動きがわかるように撮影すること。
■冒頭で氏名を述べ、曲目記入票の順で演奏すること。自由曲が複数ある場合、自由曲の演奏順は任意。お辞儀は不要。
■全作品を通して演奏し、撮影を止めずに収録すること。曲間に撮影を中断したと判断される場合は減点の対象となる。</td></tr>
<tr><td>オルガン</td><td>■パイプオルガンでの演奏に限る（電子オルガン等不可）。
■横または斜め後ろから、手鍵盤と足鍵盤を弾いている様子が同時に見えるよう撮影すること。すべての手足の動きが映らなくて良い。
■曲目記入票順に、撮影を止めずに全曲演奏すること。
■撮影場所を曲目記入票に明記すること。</td></tr>
<tr><td>弦楽器
管楽器</td><td>顔、手、腕が見えるよう撮影すること。</td></tr>
<tr><td>打楽器</td><td>小太鼓、ティンパニは打面から上（手、腕、顔）が映るよう撮影すること。
鍵盤打楽器は演奏する全音域と上半身（手、腕、顔）が入るよう撮影すること。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※課題ごとの撮影の注意点は各課題のページを参照してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">提出方法</td><td colspan="2">パソコンで再生できるファイル形式とする。</td></tr>
<tr><td>記録するデータの拡張子</td><td>avi、mov、mp4、wmv、flv</td></tr>
<tr><td rowspan="2">提出する媒体
※提出物は返却しません
※受験番号は志願票参照</td><td>①USB メモリ、Blu-ray、DVD
データの保存名：受験番号　姓＿名　撮影日4桁
例)XXXXXX 目黒＿歌子　1005　（例：10月5日撮影の場合）</td></tr>
<tr><td>②動画共有サイト（YouTube）*
動画のタイトル：受験番号_撮影日4桁
例)XXXXXX_1005　（例：10月5日撮影の場合）</td></tr>
<tr><td colspan="2">▼提出後の差替えはできません。</td></tr>
</table>

＊ ①動画は［限定公開］でアップロードし、合格発表まで削除しないこと。
②URLは本学ホームページ「入試案内（学部）」の演奏動画登録フォームより提出すること。YouTubeへのアップロード方法は、同ページに掲載されるYouTubeマニュアル参照。

(4)提出先

〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1 東京音楽大学入試課 電話 03-6455-2754(直通)

＜アクセス＞

７．試験会場

・東京音楽大学　中目黒・代官山キャンパス（東京都目黒区上目黒 1-9-1）

・東京音楽大学　池袋キャンパス（東京都豊島区南池袋 3－4－5）

※試験会場・日程の詳細はメールにて通知する案内を参照してください。

【新型コロナウイルス感染症(covid-19)に関するお知らせ】
※新型コロナウイルス(covid-19)感染状況により、試験方法が変更になることがあります。
変更については本学ホームページ上で発表しますので、随時確認してください。
緊急の連絡は登録のメールアドレスにお知らせします。

＜追試験について＞

「対面式」で出願した受験者で、新型コロナウイルス感染症（covid-19）に関係する事由*により、受験できなかった場合は、入学検定料および出願内容をそのまま振替えて追試験を受けることができます。

＊　(1)新型コロナウイルス感染症が疑われる発熱、咳などの症状がある者
(2)新型コロナウイルスに感染して治癒していない者
(3)新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者とされた人、または検査結果を待っている者

［連絡先］東京音楽大学入試課　電話 03-6455-2754　FAX　03-6455-2774

８．入学手続

合格者には、合格発表後速やかに願書記入の現住所に入学手続書類を郵送しますので、以下の手順に従い、入学手続を行ってください（詳細は入学手続書類に同封する案内を参照してください）。期間内に手続を完了しない場合は、合格を取り消します。

＊合格発表日から入学手続締切日までの日数が短いため、前もって入学手続の際に必要となる提出書類の準備をしておいてください。
＊提出された書類の記載事項に虚偽が判明した場合、合格又は入学を取り消します。
＊いったん提出された書類は、いかなる理由があっても返還いたしません。
＊入学手続期間に入学金を納入し、その他の納入金については4月以降のお支払いとなります。詳細については別途お知らせいたしますのでそちらをご確認ください。

(1)入学手続時に必要となる書類

本学所定用紙の他に、以下の書類が必要ですので予め用意しておいてください。

①住民票　※3ヶ月以内に発行されたもの
日本国外在住者は、渡日後、速やかに市区町村で住民登録を行い、住民票を提出してください。
「短期滞在」ビザでは住民登録はできませんので、必ず「留学」ビザに変更してから住民登録を行ってください。

②大学入学資格証明書
高等学校を卒業見込の資格で受験した者および日本の大学に入学するための準備教育課程を修了見込の資格で受験した者のみ、その卒業証明書・修了証明書を提出してください（日本語または英語。コピー不可）。

③パスポートのコピー
氏名・写真・パスポート番号が記載されたページのコピーを提出してください。

④パスポート(提示)
渡日後、提示してください。

⑤在留資格認定証明書代理申請関係書類
日本国外在住者のうち、在留資格認定証明書の代理申請を大学に依頼する場合は、合格者に案内する関係書類を提出してください。

⑥学費・生活費の支弁に関する書類
1)本人が学費・生活費等を支弁する場合
・本人名義の銀行等における貯金残高証明書
2)外国からの送金により学費・生活費等を支弁する場合
・支弁者名義の銀行等における貯金残高証明書　・支弁者が作成した経費支弁書(大学所定書式)
3)本人以外の日本居住者が学費・生活費等を支弁する場合
・支弁者の課税証明書または納税証明書(総所得が記載されたもの)
・源泉徴収票または確定申告のコピー　・貯金残高証明書　・支弁者が作成した経費支弁書(大学所定書式)

(2)入学手続書類(詳細は入学手続書類に同封する案内でご確認ください)
①誓約書(第一保証人および第二保証人が必要です) ②その他本学が指定したもの

(3)提出先
〒153-8622 東京都目黒区上目黒 1-9-1 東京音楽大学入試課

留学ビザ(査証)について

日本に在留する在留資格を有している場合

① 「留学」ビザを有している者

在留資格更新許可申請は、在留期間が満了する 3ヵ月前から可能です。ただし、在留資格に該当する活動を行うことなく3ヵ月以上滞在すると、在留資格取り消しの対象となりますのでご注意ください。

また、「留学」ビザの在留期間が入学後まで残っている場合にも、所属する学校に変更があった場合には、変更後 14 日以内に入国管理局へ「活動機関に関する届出」を提出することが義務付けられています。

② 「留学」以外のビザで日本に滞在していて、「留学」ビザ取得を希望する者

在留資格変更申請をしてください。入学手続完了時に「入学許可書」を発行します。この「入学許可書」を使用し、日本国内で「留学」ビザに変更することが可能です。ただし、「短期滞在」ビザで日本に入国している者は、原則として日本国内で在留資格の変更は認められていないので、一度日本国外へ出て「留学」ビザを取得しなければならなくなることもあります。

※ 本学入学前に、日本において日本語教育施設又は専修学校(日本語学校、大学・短期大学の日本語別科、その他各種専門学校等)に在籍している者は、在留期間更新・資格変更申請の際に、法務省入国管理局から、在籍していた教育機関が交付する出席状況証明書の提出を求められます。在籍状況に問題がある場合は、不許可となる場合があります。

日本に在留する資格を有していない場合

本国の日本大使館又は領事館にて「留学」ビザ発給の申請を行ってください。なお、予め本人又は代理人が、法務省東京入国管理局から「在留資格認定証明書」を取得し、これを使用して「留学」ビザ発給の申請を行うと、審査が円滑に行われるとされています。日本に親族や経費支弁者又は奨学金支給者がいる場合は、法務省東京入国管理局に「在留資格認定証明書」交付の代理申請を依頼してください。代理申請を本学が行うことを希望する者は、合格者に案内する必要書類を入学手続時に提出してください。

※ ビザ取得の審査は法務省が行うため、不許可となった場合、大学は一切責任を負いません。

※ 留学生を対象とする授業料補助および大部分の各種奨学金は、在留資格「留学」の者を対象としています。

留意事項

保証人について

出願時に保証人は必要ありませんが、合格後、入学手続時には保証人(第一保証人および第二保証人)が必要です。保証人は、原則として独立して生計を営む者で、次の優先順位により届け出てください。

① 日本に在住する親又はその他の親族
② 日本に在住しない親又はその他の親族
③ ①、②ともにいない場合に限り、日本に在住する知人など

※ 保証人は、入学手続時の誓約書に各自の記入および捺印が必要となります。保証人が日本国内に在住していない場合は、保証人の住所、氏名が記載された公的機関が発行する証明書が必要です。

連絡人について

保証人が日本国内に在住していない場合、日本に在住し、次の役割を果たす人を届け出てください。出願時に連絡人は必要ありませんが、入学時(4月初旬)には連絡人が必要です。

連絡人の役割は以下のとおりです。

① 在学中、留学生に諸問題が発生した場合には、本学と連絡を取り合う。また、本学から要請がある場合には、本人への連絡等適切に対応する。
② 本人が勉学活動を将来にわたって中断する等、その目的に応じた本邦滞在が困難となった場合には、適切な方法により休学・退学等について相談相手となる。

※ 連絡人の例:日本に在住する兄弟姉妹、配偶者又はその他の親族、友人、知人等。できる限り社会人で独立して、生計を営み、日本語能力が十分である者が望ましいです。

(4)学費その他の納入金

(2021 年度 声楽、器楽、作曲指揮(作曲「芸術音楽コース」、指揮)、音楽文化教育

①学費 〈単位:円〉

納入方法		入学金	授業料	施設拡充費	施設維持費※	合計
全納		300,000	1,487,000	390,000	135,000	2,312,000
分納	春学期	300,000	743,500	390,000	135,000	1,568,500
	秋学期	—	743,500	—	—	743,500

※ 次年度より 145,000 円

②学費以外の諸費用 〈単位:円〉

教職課程費(2 年次)	卒業記念費(卒業時)	後援会費(年額)(ほかに入会金)	校友会費(4 年次)
100,000	10,000	10,000(10,000)	20,000

(2021 年度 作曲指揮(作曲「ミュージック・メディアコース」))

①学費〈単位:円〉

納入方法		入学金	授業料	施設拡充費	施設維持費※	合計
全納		300,000	1,577,000	390,000	135,000	2,402,000
分納	春学期	300,000	788,500	390,000	135,000	1,613,500
	秋学期	—	788,500	—	—	788,500

※ 次年度より 145,000 円

②学費以外の諸費用〈単位:円〉

教職課程費(2 年次)	卒業記念費(卒業時)	後援会費(年額)(ほかに入会金)	校友会費(4 年次)
100,000	10,000	10,000(10,000)	20,000

■複数就学者授業料減免

同一生計の家庭から、本学の学士課程、修士課程、博士課程、付属高等学校に複数の学生が就学していて、経済的支援が必要と認められる場合、授業料減免措置を行います。

給費額:下の学年の学生の授業料の20%(千円未満切捨て)

期間:1年間

申請:毎年4月末までに申請書類を学生支援課に提出してください。家計状況等を考慮の上、決定します。

問合せ先:学生支援課(TEL 03-6455-2756)

「教育充実協力金」について

本学では、教育施設および設備の一層の整備充実のため、入学生保護者の皆様に寄付をお願いしております。
ご寄付は原則として任意でございますが、一口 10 万円で一口以上のご協力をよろしくお願いします。なお、協力金に関する資料は入学許可後にお渡しいたします。

■課題

全専攻共通事項

1. 英語
（英語を母語とする者または英語が公用語となっている国・地域に居住する者で、通常の課程による直近 6 年間の学校教育を英語で受けた者は免除する。ただし、通常の課程による直近 6 年間の学校教育を英語で受けたことを証明する書類を提出すること。）

2. 日本語による小論文（60 分）

~~3. 楽典~~

~~4. 聴音、新曲視唱（声楽専攻はどちらかを選択）~~

~~5. ピアノ副科　※暗譜で演奏すること。曲目記入票には楽章を明記すること。音楽文化教育専攻には課さない。~~
~~（声楽専攻、器楽専攻（オルガン、弦楽器、管打楽器）、作曲指揮専攻（芸術音楽コース、指揮）のみ）~~

~~【声楽専攻、器楽専攻（弦楽器、管打楽器）】~~
~~自由曲（ソナチネ、ソナタアルバム程度の曲から 1 曲。（ソナチネまたはソナタの場合は任意の楽章））~~
~~【器楽専攻（オルガン）】~~
~~J.S.バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第 1 巻、第 2 巻より任意の 1 曲（プレリュードとフーガ）~~
~~【作曲指揮専攻（芸術音楽コース）】~~
~~①J.S.バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第 1 巻、第 2 巻より任意の 1 曲（プレリュードとフーガ）②自由曲 1 曲（自作品不可）　①②で計 10 分以内~~
~~【作曲指揮専攻（指揮）】~~
~~①J.S.バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第 1 巻、第 2 巻より任意の 1 曲（プレリュードとフーガ）②古典派ソナタより任意の 1 曲を演奏（第 1 楽章または終楽章。専攻別曲目記入票に楽章を明記すること）~~

6. コールユーブンゲン（声楽専攻のみ）
第 1 巻の原書番号 Nos.48～51,56～59 の中から~~試験の際~~**任意の** 1 曲~~指定する~~。~~**指定曲は出願締切後、メールにて通知する。**~~（『全訳コールユーブンゲン』大阪開誠館）移動ド唱法または固定ド唱法のいずれでも可。

7. 専攻実技および面接
専攻実技は、下記の志望する専攻の課題曲を演奏すること。~~演奏箇所は当日試験委員が指定する。試験委員からの合図があるまで演奏すること。~~演奏後、日本語による面接を行う。
当日指定の調性は任意とします。
「非対面式」で受験する場合の面接は、Zoom で行う。詳細は別途出願締切後に個別に連絡する。

声楽専攻

声楽芸術

すべて暗譜で歌うこと。

（1）課題曲：次の課題曲表から ~~3 曲~~ **1 曲**を選ぶこと。~~その中から当日 1 曲を指定する。~~
※歌詞は原語で歌うこと。
※**「対面式」受験者は、**演奏の途中で打ち切る場合がある。
※（　）内のアルファベットは調を表す。**「対面式」受験者は、**これら以外の調で歌う場合は移調譜を出願書類と共に提出すること。

No.	曲　名	作曲者
①	Già il sole dal Gange　（B, As, G）	A. Scarlatti
②	Se tu della mia morte（g, f, e）	A. Scarlatti
③	Sento nel core　（g, f, es）	A. Scarlatti
④	Caro laccio　（Es, Des）	F. Gasparini
⑤	Lasciar d’amarti　（g, f, d）	F. Gasparini
⑥	**Star vicino（A, B, G）**	**L. Mancia（伝　S.Rosa）**
⑦	Sebben, crudele　（e, d, c）	A. Caldara
⑧	Vergin, tutto amor（d, c, h）	F. Durante

⑨	Nel cor più non mi sento （F, G）	G. Paisiello
⑩	**Sogno （B, As, Ges）**	**F. Tosti**
⑪	An Chloe （Es, C）	W. A. Mozart
⑫	Ich liebe dich （G, F）	L. v. Beethoven
⑬	An die Musik （D, C, B）	F. Schubert
⑭	Geheimes（As, F, Es, D）	F. Schubert
⑮	Lachen und Weinen（As, F, E）	F. Schubert
⑯	Die Lotosblume （F, Es, Des）	R. Schumann
⑰	Widmung（As, Ges, F）	R. Schumann
⑱	Dein blaues Auge（Es, D）	J. Brahms
⑲	Sonntag （G, F, Es）	J. Brahms
⑳	Zueignung （C, A, G）	R. Strauss
㉑	秋の月［山田耕筰 編曲］（h）	滝 廉太郎
㉒	荒城の月［山田耕筰 編曲］（1,2番） （d, c）	滝 廉太郎
㉓	母 （As, G, F）	小松 耕輔
㉔	北秋の『沙羅』より（D, Des）	信時 潔
㉕	行々子 『沙羅』より （Fis, F）	信時 潔
㉖	浜千鳥（Es, C）	弘田 龍太郎
㉗	浜辺の歌 （1，2番） （As, F）	成田 為三
㉘	ゆりかご （E, D）	平井 康三郎
㉙	むこうむこう （F）	中田 喜直
㉚	秋の野 『六つの子供の歌』より（c）	團 伊玖磨

（2） 自由曲：1曲（4分以内）。ただし、（1）の課題曲表以外の曲目とする

※日本歌曲、ミュージカルナンバー可*。
※オペラ・アリアは原調で歌うこと。
※伴奏譜を出願書類と共に提出のこと。（前奏、間奏、後奏のカット可。その他の部分のカットが記載されている場合は、本学で確認し、内容によっては訂正を求めることがある）。
※**「対面式」受験者の**伴奏者は大学が用意する。

*ミュージカルナンバーについて
・訳詞による歌唱可。言語は限定しない。
・マイクの使用不可。
・伴奏譜は出版譜に限る。

器楽専攻

ピアノ

暗譜で演奏すること。
次のA課題またはB課題を選択すること。

A課題

（1）J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）
（2）次の（イ）～（ホ）の練習曲集より任意の2曲（同一作曲家の組み合わせでなくても可）
（イ）モシュコフスキー Op.72
（ロ）クレメンティ
（ハ）チェルニーOp.740 （50番練習曲）
（ニ）モシェレス
（ホ）ショパン Op.10、Op.25（Op.10 No.6、Op.25 No.7を除く）
（3）自由曲（5 分以上 8分程度。複数曲可）

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

B 課題

自由曲（12 分以上 17 分程度。1 曲または複数曲の組み合わせでもよい。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること）省略は認めない。
ただし、繰り返しはその限りではない。

ピアノ演奏家コース

暗譜で演奏すること。
次のA課題またはB課題を選択すること。

A課題

（1）J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）
（2）ショパン『練習曲集』Op.10、Op.25より任意の2曲（Op.10 No.6、Op.25 No.7を除く）
（3）次の①または②を選択すること
① （イ）～（ト）の練習曲集より任意の1曲
（イ）リスト
（ロ）ドビュッシー
（ハ）スクリャービン Op.8、Op.42、Op.65
（ニ）ラフマニノフ Op.33、Op.39
（ホ）プロコフィエフ Op.2
（ヘ）バルトーク Op.18
（ト）リゲティ
②ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのソナタの中から、任意の 1 楽章

（4）自由曲（12 分以上 15 分程度。複数曲を演奏する場合は、楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること）
省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

B 課題

自由曲（25 分以上 30 分程度。1 曲または複数曲の組み合わせでもよい。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること）
省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

※器楽専攻（ピアノ演奏家コース）の受験結果により、器楽専攻（ピアノ）に合格となる場合がある。

ピアノ･創作コース

1. ピアノ実技 次の A 課題または B 課題を選択すること。

暗譜で演奏すること。

A課題

（1）J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意のプレリュードまたはフーガ1曲
（2）次の（イ）～（ホ）の練習曲集より任意の1曲
（イ）モシュコフスキー Op.72
（ロ）クレメンティ
（ハ）チェルニー Op.740 （50番練習曲）
（ニ）モシェレス
（ホ）ショパン Op.10、Op.25（Op.10 No.6、Op.25 No.7を除く）
（3）自由曲（5分以上8分程度。複数曲可）
省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

B課題

自由曲（12分以上17分程度。1曲または複数曲の組合せでもよい。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること）
省略は認めない。ただし、繰返しはその限りではない。

2. 作品提出

自作の楽譜を1曲、出願書類と共に提出すること。編成および曲の長さは自由とする。
例：ピアノ独奏曲、電子オルガンを含むアンサンブル作品等

コンポーザー＝ピアニストコース

1．ピアノ実技　次の A 課題または B 課題を選択すること。

暗譜で演奏すること。

A 課題

(1)J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第 1 巻、第 2 巻より任意の 1 曲(プレリュードとフーガ)。

(2)次の(イ)～(ホ)の練習曲集より任意の2曲(同一作曲家の組み合わせでなくても可)。

(イ)モシュコフスキー　Op.72

(ロ)クレメンティ

(ハ)チェルニー　Op.740 (50 番練習曲)

(ニ)モシェレス

(ホ)ショパン　Op.10、Op.25(Op.10 No.6、Op.25 No.7 を除く)

(3)自由曲(5 分以上 8 分程度。複数曲可)

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

B 課題

自由曲(12 分以上 17 分程度。1 曲または複数曲の組合せでもよい。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること)

省略は認めない。ただし、繰返しはその限りではない。

2．作曲　実施方法は出願締め切り後、個別にメールにて連絡する。

(1) 和　声　(イ) 転調および非和声音を含むバス課題 (2 時間)

(ロ) 転調および非和声音を含む課題ソプラノ課題 (2 時間)

(2) 作品提出　1 曲ないし 2 曲 (組曲は 1 曲とみなす)

※編成、演奏時間は任意

※出願書類に同封できない場合は別送可。

(音源のみの提出は不可)

チェンバロ

(1) J. S. バッハ『3声のシンフォニア』(BWV 787-801) より任意の3曲

(2) F. クープラン『クラヴサン奏法』(L'art de toucher le clavecin) よりプレリュードNo.5 またはNo.7

(3) 初見視奏 (バロックの様式による舞曲もしくはそれに準ずる小曲)

オルガン

(1)J. S. バッハ『オルガン小曲集』(Orgelbüchlein BWV 599-644)から任意の 5 曲。

(2)任意のオルガン曲 1 曲(コラール編曲以外の作品とする)。

※暗譜の必要なし。

※アシスタントの要、不要を専攻別曲目記入票に記入すること。

※試験日以前に、レジストレーションのための若干の練習時間を与える。

弦楽器

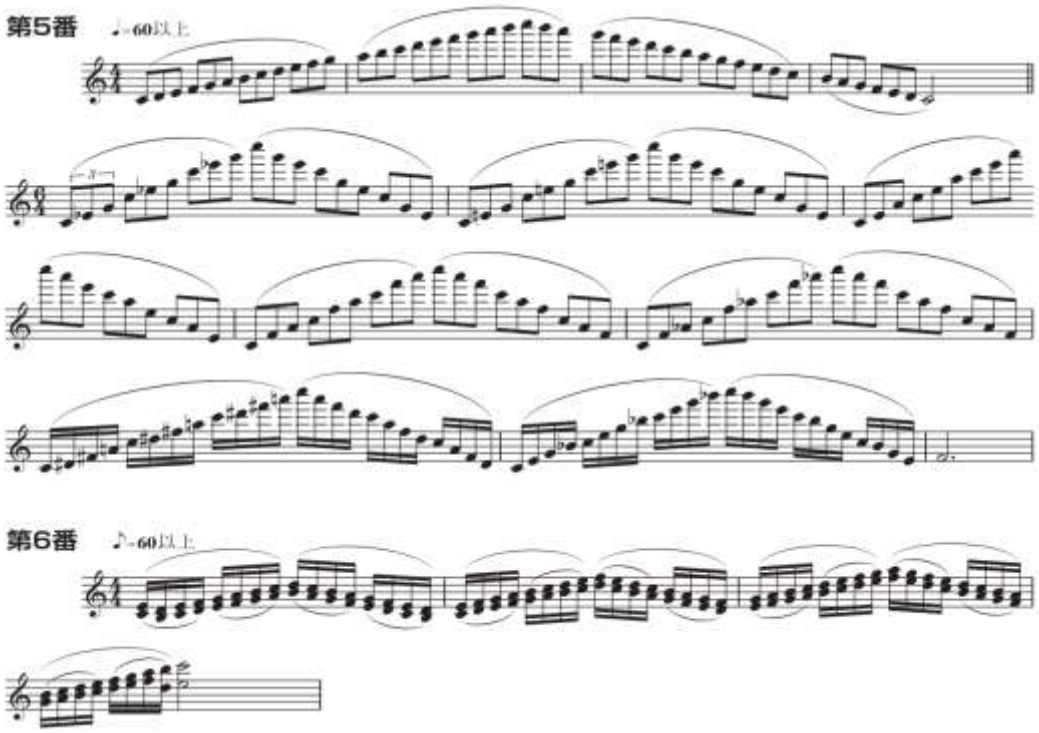
ヴァイオリン

(1)音階および分散和音

Carl Flesch ： Scale system (C. フレッシュ『スケール・システム』)より、任意の長調または短調を選び、第5、6、7、8 番を演奏する。運指の指定なし。

①第５番は冒頭から 12 小節目までを演奏する。♩=60 以上(スラーは下記の C-dur に準ずる)

②第６、７、８番は各々冒頭から４小節目までを、速やかに続けて演奏する。♪=60 以上(スラーは 16 分音符 4 個以上とする。１小節２弓でも可。下記の第６番参照)



(2)練習曲

P. Rode、J. Dont(Op.35), N. Paganini の練習曲、カプリスより任意の 1 曲。

(3)任意の協奏曲より第１楽章(カデンツァを含む)。

※いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※(3)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること(出版譜に限る)。

※演奏によりヴィオラに適正がありと認め得る受験者は、ヴィオラで合格となる場合がある。

ヴィオラ

(1)音階および分散和音

Carl Flesch ： Scale system より、任意の長調または短調を選び、第 5、6、7、8 番を演奏する。運指、運弓の指定なし。

①第 5 番は冒頭から 12 小節目までを演奏する。♩=60 以上(スラーとリズムは C-dur に準ずる)

②第 6、7、8 番は各々冒頭から 4 小節目までを、速やかに続けて演奏する。♪=60 以上(16 分音符 4 個以上とする。)

(2)B. Campagnoli ： 41 Caprices(B. カンパニョーリ『41 のカプリース』)から任意の 1 曲、または同程度もしくはそれ以上の難易度の任意の 1 曲。

(3)次の(イ)～(ニ)より任意の 1 曲。

(イ)Johann Christian Bach ： 協奏曲ハ短調より 第 2 楽章、第 3 楽章(カデンツァを含む)

(ロ)C. Stamitz ： ヴィオラ協奏曲ニ長調作品 1 より 第 1 楽章(カデンツァを含む)

(ハ)F. Hoffmeister ： ヴィオラ協奏曲ニ長調 より 第 1 楽章(カデンツァを含む)

(ニ)上記の(イ)～(ハ)と同程度もしくはそれ以上の曲から 1 曲(出版社の指定なし)

※いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※(3)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること(出版譜に限る)。

※ヴァイオリンによる受験可。出願書類の志望欄にヴィオラと記入し、ヴァイオリンの課題で受験すること。

チェロ

(1)音階

任意の長調、短調を4オクターヴ(4音を 1 弓で演奏すること)

(2)練習曲

次の(イ)～(ハ)より任意の 1 曲

(イ) D. Popper ： Hohe Schule des Violoncellspiels, op. 73 (ポッパー ： 40 の練習曲)

(ロ) J. L. Dupport ： 21 études (デュポール ： 21 の練習曲)

(ハ) A. Schroeder ： 170 foundation studies for violoncello, 2 (シュレーダー ： 170 の基礎練習 第2巻)

(3)任意のチェロ協奏曲より第1楽章または最終楽章。

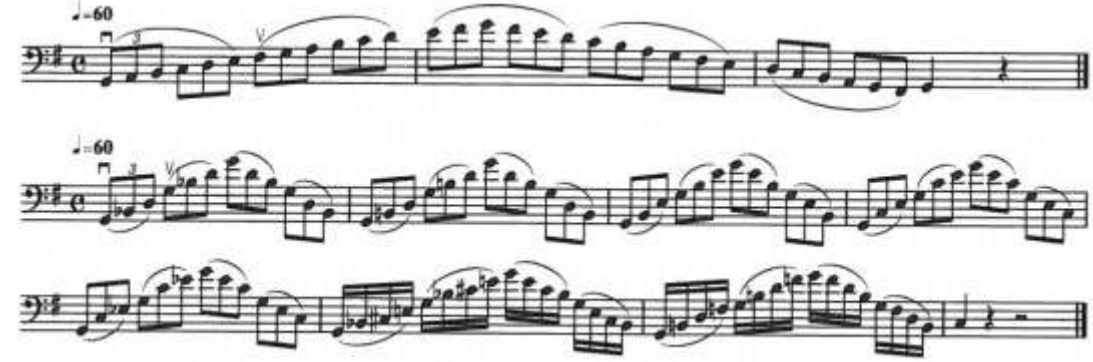
※いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※(3)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること(出版譜に限る)。

コントラバス

(1)音階および分散和音

次の楽譜を演奏すること。運指の指定なし。



(2)下記のいずれかを選択すること。

(イ)任意のソナタより第 1 楽章と第 2 楽章。

(ロ)任意の協奏曲より第 1 楽章または最終楽章。

※オーケストラチューニング、暗譜で演奏すること。

※(2)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること(出版譜に限る)。

ハープ

(1)F. J. Naderman ： 7 Sonates progressives, Op.92 より任意の第 1 楽章

(2)自由曲(J. L. Dussek のソナタと同程度の難易度の作品)を 1 曲。

※暗譜で演奏すること。伴奏なし。

クラシックギター

(1)F. Sor または H. Villa-Lobos の練習曲より任意の 1 曲。

(2)自由曲 1 曲。

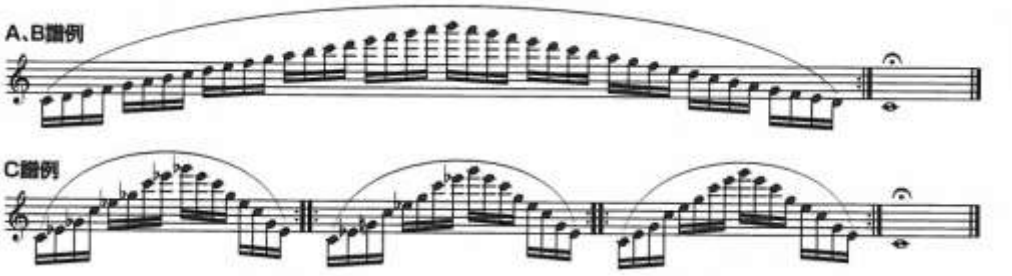
※暗譜で演奏すること。伴奏なし。

木管楽器　当日指定の調性は任意とします。

フルート

(1)音階と分散和音

M. Moyse ： Exercises journaliers pour la flûte(M. モイーズ『フルートのための日課練習』)より長音階(A)、短音階(B)、分散三和音(C)を演奏する。♩≒ 60(譜例参照)



(2)J. Andersen ： 24 Studies for flute, Op.21(J. アンデルセン『24 のエチュード 作品 21』)より Nos.1, 5, 6

(3)W. A. Mozart ： フルート協奏曲 第 2 番 ニ長調 K.314 より第 1 楽章(カデンツァは含まない)

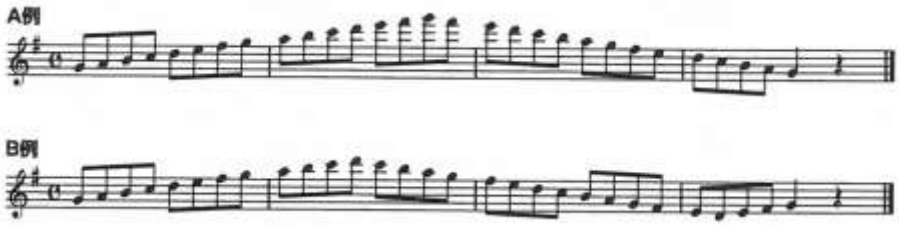
※いずれも版の指定なし。暗譜の必要なし。演奏箇所は任意。

※(3)の伴奏者は大学が用意する(楽譜の提出不要)。

オーボエ

(1)音階

次の A、B いずれかの音型によって長音階と短音階を演奏すること。調性、スラー等は任意。暗譜。



(2)F. W. Ferling ： 48 Etudes, Op.31(F. W. フェルリンク『48 のエチュード』) Nos.5-10 の中から任意。

※(2)は版の指定なし。暗譜の必要なし。

クラリネット

(1)音階

R. Eichler ： Scales for Clarinet より各調の1番をスラーで演奏すること。調性は任意。暗譜。

(2)E .Cavallini ： 30 Capricci(Ricordi)より Nos.16,19,22 の 3 曲。演奏箇所は任意。

(3)次の 2 曲のうちいずれかを演奏すること。

C.M.v ウェーバー ： クラリネット協奏曲 第 1 番 ヘ短調 作品 73 より第 1 楽章(Baermann のカデンツを含む)
前奏は Solo の 10 小節前より

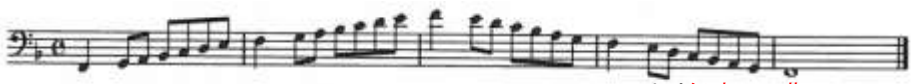
C.M.v ウェーバー ： クラリネット協奏曲 第 2 番 変ホ長調 作品 74 より第 1 楽章
前奏は Solo の 6 小節前より

※伴奏者は大学で用意する。

ファゴット

(1)音階

次の音型によって、長音階と和声的短音階を演奏すること。調性、スラー等は任意。暗譜。



(2)J. Weissenborn ： Fifty Bassoon Studies, Op.8. Vol.2 の Nos.1-15 より任意の2曲。

(3)J. Weissenborn ： Fifty Bassoon Studies, Op.8. Vol.2 の Nos.22-43 より任意の1曲。

※(2)(3)は暗譜の必要なし。

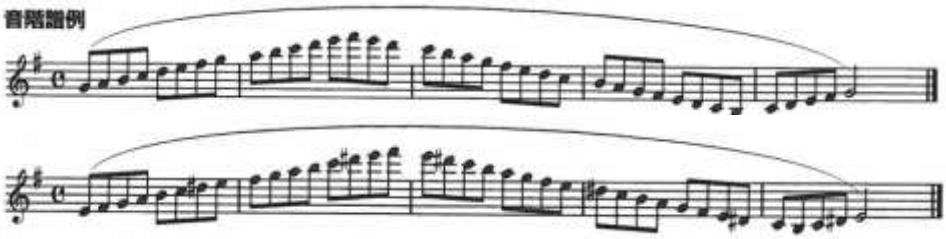
サクソフォーン

アルト・サクソフォーンで受験すること。

(1)音階

次の音型によって、長音階と和声的短音階をスラーで演奏すること。調性は全調の中から任意。

暗譜。繰り返しなし。



(2)F. W. Ferling ： 48 études pour tous les saxophones(F. W. フェルリンク『サクソフォンのための 48 の練習曲』[M. ミュールによる増補改訂版] A. Leduc)より、任意の奇数番号 1 曲と任意の偶数番号 1 曲の計 2 曲を演奏すること。

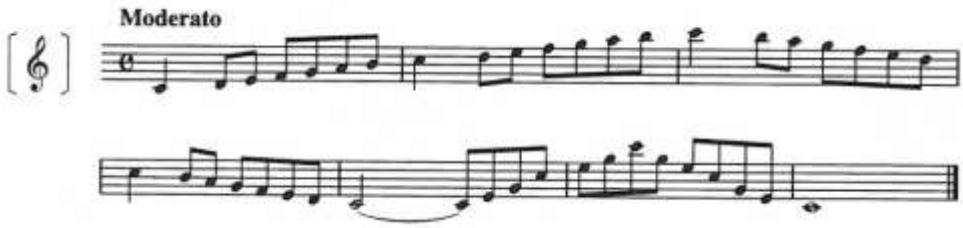
(3)自由曲 1 曲 (編曲作品可。抜粋の場合は、楽章等を専攻別曲目記入票に明記すること)

※(2)(3)は暗譜の必要なし

金管楽器　当日指定の調性は任意とします。

金管楽器　共通課題(音階および分散和音)

次の例にしたがって、長音階と短音階を暗譜で演奏すること。調性、音域は任意。



ホルン

(1)共通課題(音階および分散和音)

(2)W. A. Mozart ： ホルン協奏曲　第3番　変ホ長調　K.447 より　第 1 楽章(カデンツァなし)

※(2)は暗譜の必要なし。伴奏者は大学が用意する(伴奏譜の提出不要)。前奏は Solo の4小節前より始め、それ以降のカットなし。

トランペット

(1)分散和音

以下の音型を実音 B-dur で開始し、順次 E-dur まで下がること。暗譜。

(2)共通課題(音階および分散和音)

(3)J. B. Arban ： Fantaisie Brillante (華麗なる幻想曲)より主題と変奏曲Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ

Arban's Complete Conservatory Method 所収

※(3)は暗譜の必要なし。伴奏者は大学が用意する(伴奏譜の提出不要)。序奏なし。

[使用楽譜] J. B. アーバン『12 の幻想曲とアリア』No.3 (ISR Collection, 全音楽譜)

トロンボーン

(1)共通課題(音階および分散和音)

(2)J. Rochut ： Melodious Etudes for Trombone. Book 1. Edited by Alan Raph(C. Fischer)より

No.39(全曲)、No.12(33 小節目から最後まで)

(3)G. Kopprasch ： 60 Etudes for Trombone (G. コプラッシュ『60のエチュード(トロンボーン)』(全音楽譜))よりNo.35

※繰り返しなし。暗譜の必要なし。

バス・トロンボーン

(1)共通課題(音階および分散和音)

(2)J. Rochut ： Melodious Etudes for Trombone. Book 1. Edited by Alan Raph(C. Fischer)より
No.39(全曲)、No.12(33小節目から最後まで)
※1 オクターヴ下げて演奏してもよい。

(3)O. Blume ： 36 Studies for Trombone with F Attachment よりNo.7
※暗譜の必要なし

テューバ

(1)共通課題(音階および分散和音)

(2)練習曲

以下の中から任意。いずれも途中でカットする場合がある。

G. Kopprasch ： 60 Selected Studies(R. King Music) Nos.12, 14, 16, 20, 22

M. Bordogni ： 43 bel canto studies(R. King Music) Nos.1, 4, 7, 12, 14

(3)J. S. Bach ： Air and Bourrée (Wm. J. Bell 編曲)

※暗譜の必要なし。伴奏なし。

ユーフォニアム

(1)共通課題(音階および分散和音)

(2)J. Rochut ： Melodious Etudes for Trombone の Nos.3, 4, 5 から任意の1曲。

(3)J. B. Arban ： Variations on a Song “Vois-tu la neige qui brille”(The Beautiful Snow)
(「輝く雪」の歌による変奏曲)*Arban's Complete Conservatory Method* 所収
※(2)(3)は暗譜の必要なし。版の指定なし。
※(3)の伴奏者は大学が用意する(伴奏譜の提出不要)。前奏なし。

[使用楽譜] J. B. アーバン『12 の幻想曲とアリア』No.5 (ISR Collection, 全音楽譜)

打楽器 当日指定の調性は任意とします。

ティンパニ、小太鼓、マリンバのいずれかの課題で受験すること(出願書類に楽器を記入すること)。

ティンパニ

(1)ロール *pp* < *ff* > *pp* (30 秒以上)

(2)R. Hochrainer ： Etüden für Timpani. Heft 1(Doblinger) Nos.19, 26, 39, 40, 43, 44 より任意。

(3)簡単な初見演奏。

(4)小太鼓による2つ打ち(楽器は各自持参のこと)

(5)マリンバによる2オクターヴの長音階と短音階(調性は任意。音型は自由。但し、長音階は繰り返しあり、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する)

小太鼓

(1)2 つ打ち、ロール *pp* < *ff* > *pp* (30 秒以上)

(2)A. J. Cirone ： Portraits in Rhythm. Nos.13, 15, 18, 28, 37 より任意。

(3)簡単な初見演奏

(4)マリンバによる2オクターヴの長音階と短音階(調性は任意。音型は自由。但し、~~長音階は繰り返しあり、~~短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する)。

マリンバ

（1）3オクターヴの長音階、短音階、分散和音（調性は任意。音型は自由。但し、~~長音階は繰り返しあり、~~短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する）。

（2）M. Goldenberg ： Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone （Alfred Music）の 39 EtudesXV（15 番）

（3）自由曲（伴奏なし）

（4）簡単な初見演奏

（5）小太鼓による2つ打ち（楽器は各自持参のこと）

作曲指揮専攻

作曲「芸術音楽コース」　**※実施方法についての詳細は、出願締め切り後にお知らせします。**

（１）和　声　（イ）転調および非和声音を含むバス課題（2 時間）

（ロ）転調および非和声音を含む課題ソプラノ課題（2 時間）

（２）作品提出　1 曲ないし 2 曲（組曲は 1 曲とみなす）

※編成、演奏時間は任意

※出願書類に同封できない場合は別送可。

（音源のみの提出は不可）

（３）面　接　10 分程度（作曲を志した動機等）

作曲「ミュージック・メディアコース」　**※実施方法についての詳細は、出願締め切り後にお知らせします。**

（1）伴奏付け（譜面作成とそのピアノ演奏）

①与えられた旋律に対して「伴奏／コード付け」を行う。

（1 時間。譜面作成時、**「対面式」選択者は**備え付けのキーボード使用可）

②**「対面式」選択者は**「伴奏／コード付け」した①の結果を、ピアノで演奏する。

（2）和声（2 時間）

①転調を含むバス課題。

②簡単な転調および非和声音を含むソプラノ課題。

~~※試験開始後 1 時間でバス課題のみ提出。~~

~~（3）小論文（1 時間）~~

~~当日出題される課題について、簡単な文章を書く。~~

~~（4）ピアノ演奏~~

~~自由曲、または自作曲のピアノ演奏。楽曲の選択は、クラシック、ポピュラー等ジャンルを問わない。~~

~~（ピアノ独奏のみ。伴奏用音源等は使用不可）（注 1 参照のこと）~~

~~（5）~~**（3）**面接

作曲に対する意識、今後、作曲家となるべく努力する姿勢、意識を問う。特別な音楽的能力を有する者は、面接でアピールすることができる。（注 1 参照のこと）

~~（6）~~**（4）**自作曲の評価

自作曲のデモ音源、楽譜（スコア等）を持参し、面接時にアピールすること。（注 2 参照のこと）

〈作曲「ミュージック・メディアコース」参照事項〉

~~注 1　ピアノ演奏について~~

~~基本的なピアノ演奏能力を知ることが目的であるため、注意して楽曲を選ぶこと。曲名、作曲者名は、専攻別曲目記入票に詳しく正確に記入すること。~~

~~注 2~~ **注 1　対面による面接について**

① ギター、ベース等の楽器演奏を希望する場合は、楽器を持参すること。ギターアンプ、ベースアンプは備え付けのものを使用する。ドラムスの演奏を希望する場合は、備え付けのセットを使用する

こと。ただし、スネア、ペダル、シンバルは持ち込みを可とする。スティックは持参すること。

② 楽器演奏を希望する楽器名、楽曲名は専攻別曲目記入票に記入すること。

③ 電子オルガン等、複数人での移動を必要とする大型楽器の持込みは不可とする。その場合のアピールは、映像資料を用意すること。

④ 映像資料でのアピールは、①USB メモリに記録したデータ、②Blu-ray、③DVD、いずれかでの視聴とする。視聴できない場合のバックアップとして、必ず２つ以上のメディアを持参すること。

※ バックアップに限り、④ノート PC やスマートフォン等の持参も可とし、①～③のメディアが再生できない場合、④の提出を求める。

~~注 3~~ 注 2 **自作曲について**

① 音源は、自作曲のみを記録した USB メモリを面接会場に持参し、提出すること。複数曲可。その際、データ名に再生希望順を明記すること。また、バックアップとして必ず他のメディア（CD、ノート PC、スマートフォン等）に記録したものも持参しておくこと（USB メモリで再生できない場合、これらのメディアの提出を求める）。

② 楽曲自体を考察することが目的であるため、録音状態、使用機材等は問わない。楽曲のスタイルは自由だが、楽曲のデモとして十分な状態を満たすこと。

③ 面接時に楽譜（スコア等）を５部持参すること。簡易でもよいので製本をすること。~~視聴後、楽曲の部分的な演奏を指示する場合がある。その場合、使用する楽器は基本的にピアノとする。~~

※ 持参・提出する USB メモリに記録するデータフォーマットは、以下の通りとする。

・ 音源：WAV、または mp3

・ 映像：mov、または mp4

※ 持参・提出する USB メモリは、新品を用意するか事前にフォーマットを施したものに保存するなどして、他の用途のデータと混在させず、面接時に必要なデータのみ記録しておくこと。

※ 持参・提出した USB メモリをはじめとするメディアは、面接終了時に返却する。

※ 提出した楽譜（スコア等）は、返却しない。

※ バックアップとしてノート PC、スマートフォンなどを持参する場合、オーディオ再生用のケーブルは備え付けのものを使用する。ただし、電源ケーブル(充電ケーブル)は持参すること。

※ インターネット接続を必要とする再生方法は、一切認めない。

指揮 **専攻課題はすべて「対面式」で実施します。**

(1)聴音:旋律(単旋律、二声および四声)の書き取り(四声は木管四重奏の録音による)。

(2)全ての音部記号を用いた旋律の初見視唱。

(3)簡単な旋律のピアノ初見弾き歌い。

(4)スコアリーディング(2 管編成程度の管弦楽曲)

(5)指揮実技

（イ）2 管編成程度の管弦楽曲の初見指揮（演奏は 2 台のピアノによる）

（ロ）ロッシーニ：歌劇『セビリアの理髪師』序曲（ブライトコプフ版）（演奏は 2 台のピアノによる）

（ハ）ハイドン：交響曲 第 99 番 変ホ長調 Hob.I:99（ランドン版）（演奏は 2 台のピアノとヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスによる）

※（ロ）（ハ）は暗譜で演奏（指揮）すること

(6)演奏実技

①J.S.バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第１巻、第２巻より任意の１曲（プレリュードとフーガ）

②古典派ソナタより任意の１曲（第１楽章または終楽章。専攻別曲目記入票に楽章を明記すること）

③ピアノを含む任意の楽器を演奏。無伴奏。（声楽を含まない）

(7)和声（バス・ソプラノ課題「初級程度」1 時間）

(8)小論文（1 時間）

(9)口述試問

音楽文化教育専攻　**実施方法の詳細は、出願締め切り後にお知らせします。**

1. 小論文

~~当日出題する課題について 800 字程度で論じる。(60 分)~~

2. ~~口述試問~~ 任意の音楽実技**動画の提出**（5 分程度）。~~鍵盤楽器以外の実技を選択した場合は「基礎ピアノ」*を課す。~~

~~*「基礎ピアノ」（自由曲１曲。レベル、ジャンルは問わない。）~~

~~※伴奏なし。ただし、声楽を選択した場合は大学が伴奏者を用意する。~~

~~伴奏譜は出願書類と共に提出すること。~~

※暗譜の必要なし。

※「非対面式」選択者は演奏実技動画を提出すること。提出方法は p.6 参照のこと。

~~※任意の音楽実技について~~

~~①以下の楽器のみ貸出します。~~

~~ピアノ、電子オルガン（ヤマハエレクトーン ELS-02C）、コントラバス、ハープ、テューバ、マリンバ~~

②自作、編曲に限り出願書類と共に楽譜を提出すること（製本しないこと）

３. 口述試問

Zoom により実施します。メールで指定された時刻に URL から入室してください。

■受験上の注意

①試験当日の集合時間など受験に関する詳細は、試験当日 1 週間前までに通知しますので、必ずご確認ください。

②試験当日の大まかな流れは原則として以下のとおりです。定められた時刻までに集合場所に集合し、以降は全て係員の指示に従ってください。　集合・受付 → 直前練習 → 試験

③実技試験において集合時刻に遅れた者は受験を許可しません。やむを得ない事情（公的事情）により遅刻をした場合は、直ちに係員に申し出てください。

④練習室は貸出しません。

⑤試験当日に持参するもの

・受験票（各自で忘れずに印刷してください。受験票を持たない者は入構できません）　・筆記用具　・昼食（試験が昼食時間におよぶ場合）

⑥保護者の入構はできません。

⑦服装については、特に指定しません。

■出願書類の記入・提出に関する注意

Web 出願サイトでユーザー登録を行った後、本学ホームページから必要書類を印刷します。（p.3-4 参照） 印刷した出願書類とそれ以外の必要書類（調査書等）は、すべて揃っていることを確認の上、期限内に郵送にて提出してください。本学の窓口では受け付けません。

出願書類の記入については、以下の注意事項をよく読み、誤りや漏れのないよう記入してください。

(1) 各出願書類は、黒、青インクまたはボールペンを使用し、文字は楷書で、数字は算用数字で正確に記入してください。書き損じた場合は、二重線を引いて訂正印を押し、空いているところに記入してください（修正液・修正テープは使用しないでください）。

(2) 該当欄は記入または○で囲んでください。※欄は記入不要です。

(4) 願書および受験票には Web 出願サイトでアップロードした写真が用いられます。カラー、正面上半身脱帽、縦 4:横 3 の比率で、3 ヵ月以内に撮影したものを Web 出願サイトにアップロードしてください。眼鏡等の有無は問いません。

(5) 曲目記入票について

①演奏する曲目、作曲者、調名、作品番号、楽章等まで該当する欄に詳しく記入してください。

②作品番号は、「Op.30 No.2」のように明確に、漏れのないよう記入してください。

③楽章等の記入は、「第1楽章」「第2楽章」と「第」を入れて記入してください。

④曲目等の記入は、特に指定がなければ、邦語、原語どちらでも構いません。

⑤ピアノ自由曲で一部省略する場合は、その箇所を記入してください。

⑥出願後は、受験曲名、調の変更（訂正）は認めないので、間違いのないように正確に記入してください。

⑦曲目記入票に記入された事項（作曲者、曲目、調名、平均律巻名、楽章等）が試験で演奏したものと異なる場合、原則として失格になりますので注意してください。

(6) 伴奏譜について

声楽、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスを志望する志願者は、伴奏譜を出願書類に同封してください。伴奏譜の作成方法等は 23 ページ「伴奏譜の提出について」を参照してください。

※個人情報の取り扱いについて

①本学は、志願者の出願書類に記載された個人情報および入学試験の成績を入学試験業務に利用します。なおこれらの個人情報は個人情報保護法に則り万全の態勢で管理します。

②本学は、上記の個人情報を大学入学者選抜および大学教育の改善のための調査・研究や学術研究の資料としても利用します。調査・研究結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

③本学は、願書記載事項のコンピュータ登録業務、受験票、合格証、入学手続書類等の発送の業務を、個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者に委託する場合があります。

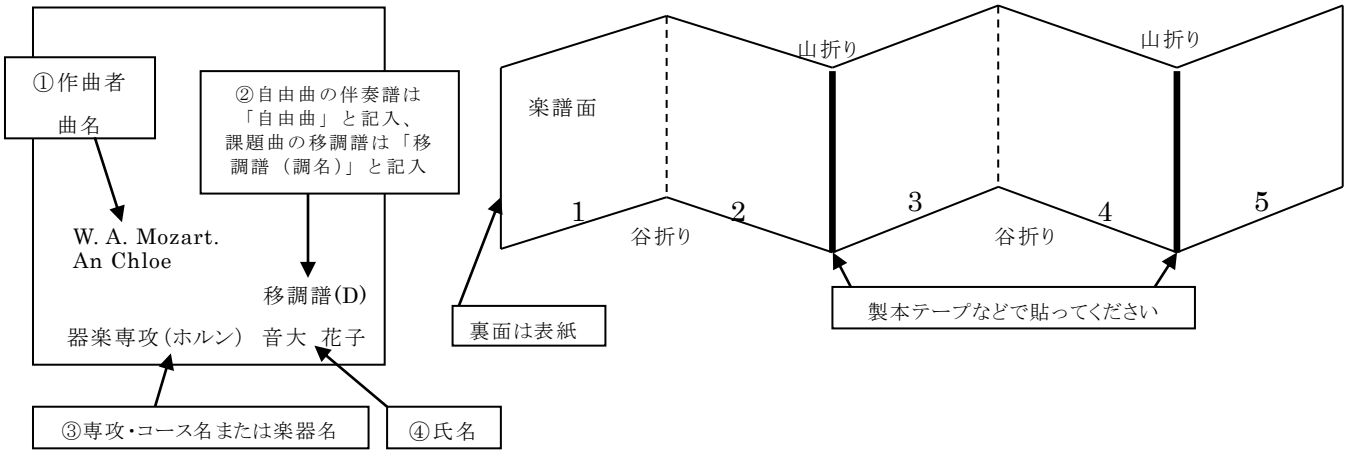
■伴奏譜の提出について

声楽、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスで受験される方は、以下の要領で課題の伴奏譜を出願書類と共に提出してください(指定課題の曲目を演奏する場合であっても提出してください)。
声楽専攻で受験される方は、自由曲および課題曲で課題曲表のカッコ内に記入してある調以外で受験する場合の移調譜を提出してください(課題曲カッコ内の調で受験する場合は、伴奏譜の提出は必要ありません)。
※伴奏譜の分量の関係で出願書類送付用の封筒に入りきらない場合は、出願期間中に本学入試課まで別送してください。

○伴奏譜作成手順

・楽譜は1ページA4 縦とし、ページ抜けがないようにしてください。
・1 曲ごとに表紙をつけ、表紙右下に①作曲者・曲名、②自由曲伴奏譜・移調譜の区別、③専攻・コース名または楽器名、④氏名を記入してください。
・2 ページ以上になる場合は、アコーディオン状に折って、製本テープ(無地のマスキングテープ)等で貼ってください。セロファンテープは使用しないでください。
・コピーの濃淡等を調整の上、鮮明な楽譜を提出してください。
・手書きの伴奏譜を作成する場合は、定規等を使用し、正しく丁寧に記入してください。また、鉛筆ではなく、黒ボールペン等で清書した譜面を提出してください。

＜表紙の書き方＞裏面は楽譜 1 ページ目



■創作曲楽譜について（ピアノ・創作コース志願者のみ）

創作曲楽譜について
①楽譜は、鮮明な自筆あるいはコピーとし、コンピュータ浄書も可とします。
②表紙に曲名、氏名を記入し、簡易に製本してください(ホッチキス止め可)。
③譜面各ページの右上に氏名を必ず記入してください。また、ページ番号を表記してください。

■奨学金制度について

本学では学業成績優秀な学生への褒賞として、各種奨学金制度を用意しています。
詳細は、学生支援課（TEL 03-6455-2756）までお問い合わせください。

東京音楽大学奨学金制度

①特別特待奨学生

入学試験、学期末試験等における実技試験若しくは国内外の音楽活動において極めて優秀な成績を修めた者または音楽の才能が格段に秀でた者で、人物ともに優れ、本学の他の学生の模範となり、将来の音楽界においても活躍が期待されると認められる者に対し「特別特待奨学生」として在学期間の学費全額または理事会の定める額を免除します。
「特別特待奨学生」は出願制ではありません。学長の推薦により理事会の議を経て、理事長が決定します。

②給費奨学金

内容：下表の通り

種別	資格	給費額
特別奨学生	入試成績又は実技等の学業成績が極めて優秀であり、人物も優れ、将来広く音楽界において貢献できる見込みのある者	全学費相当額
準特別奨学生	特別奨学生の対象者に準ずると認められる者	50～100万円
甲種奨学生	入試成績又は実技等の学業成績が優秀であり、人物も優れ、将来広く音楽界において貢献できる見込みのある者	30万円

対象：全学年
期間：1年間
選考：出願制ではありません。大学で選考し採用者を決定します。

③短期留学奨学金*

内容：下記機関への短期留学参加費用の補助

(1) モスクワ音楽院（ロシア／モスクワ）
(2) シベリウス・アカデミー（フィンランド／ヘルシンキ）
(3) ギルドホール音楽院（イギリス／ロンドン）
(4) ショパン音楽大学（ポーランド／ワルシャワ）
(5) Asian Art Ensemble(インターナショナル・コンポーザーズ・ワークショップ)（中国／北京・ドイツ／ベルリン）
(6) ハノーファー音楽・演劇・メディア大学（ドイツ／ハノーファー）
(7) フォルクヴァング芸術大学（ドイツ／エッセン）
(8) バイエルン州立青少年オーケストラ（ドイツ／オーベルストドルフ）
(9) ザルツブルク・モーツァルテウム大学（オーストリア／ザルツブルク）
(10) ホルンターゲ（オーストリア／テルフス）
(11) リスト音楽院（ハンガリー／ブダペスト）
(12) リセウ高等音楽院（スペイン／バルセロナ）

選考：学内オーディションおよび外国語インタビューにより選考します。
*毎年 10 月に本学国際交流センターによる説明会が開催されます。

【参考】

①日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構は、独立行政法人日本学生支援機構法に基づいて設立され、優れた学生で経済的理由により修学困難な者に対し、学資の給付及び貸与を行っています。本学で最も利用者が多い奨学制度です。本学は、2020年4月から開始された「高等教育の修学支援新制度」の対象校となりました。この制度の対象者は、授業料減免及び給付奨学金を受けることができます。

※詳細は、ホームページ(https://www.jasso.go.jp/)で確認してください。

※4月に在学生を対象とした採用説明会を行います。期日等は新入生ガイダンスでお知らせします。

②国の教育ローン

政府系金融機関の日本政策金融公庫が運営する教育ローンです。詳しくは「国の教育ローン」のホームページ(https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html)でご確認ください。

③学費提携ローン金利補助制度（東京音楽大学後援会）

内容:在学期間中の提携教育ローン金利補助(借入限度あり)

対象:全学年(ただし、1年生は秋学期より申込可)

要件:経済的理由により就学困難な者(提携銀行による審査あり)

募集:直接銀行に申請してください。(三井住友銀行池袋支店　03-3984-5151)

■学生寮（女子）について

自宅からの通学が困難（通学時間3時間以上を目安）な学生(女子)に対し、学生寮が設けられています。
※2021年12月、池袋キャンパス内に新寮（女子寮）が完成予定です。

（１）申込方法

入寮希望者は、合格者に送付する合格証等の書類に同封されている「2021年度東京音楽大学目白台学生寮入寮申込書」に必要事項を記入のうえ、入学手続書類に同封し郵送してください。

（２）選考

新年度の入寮可能数内で入学試験の成績・調査書類等を総合的に考慮のうえ大学が決定します。申込者多数の場合、入学試験に合格しても入寮許可にならない場合があります。

（３）発表・手続

①選考の結果入寮を許可する者には、大学から直接通知します(12月下旬を予定)。
②入寮許可後に辞退する場合は、至急学生支援課へ電話でご連絡ください。
③入寮手続の詳細は、大学からの入寮許可通知とともにお送りする入寮手続書類を参照してください。

（４）施設・設備

①所在地　〒112-0015　東京都文京区目白台3-1-3（地下鉄有楽町線：護国寺駅下車）
TEL 03-3947-1561　FAX　03-3947-1562
②通学時間　徒歩約25分
③入寮定員　大学生92名（2人部屋）
④建物の構造　鉄筋コンクリート造　地上5階、地下1階建
⑤寮室間取　Aタイプ（大）：12畳　Bタイプ（小）：8.5畳
⑥寮室備品　本棚付き机、椅子、ベッド、クローゼット、チェスト、エアコン、電気スタンド
⑦付帯設備　ロビー、食堂、談話室、浴室、洗面所、洗濯室、乾燥室、練習室45室（グランドピアノ20台、アップライトピアノ27台）、パソコン3台

（５）入寮費用

ルームタイプ	入寮金(入寮時のみ)	寮費(月払い)	食費(月払い)
Aタイプ (12畳・2人部屋)	80,000円	31,450円×12回	28,875円×12回 ※朝・夕2食 (日・祝含む)
Bタイプ (8.5畳・2人部屋)		26,500円×1回 26,300円×11回	

①　寮費及び食費は、閉寮となる8月分を除いた1年間にかかる総額を12等分となります。
②　食費は税抜表示です。引落時に別途消費税をいただきます。
③　上記費用は、物価の高騰等により値上げする場合があります。

（６）その他

①夏期・冬期・春期休業期間中は、閉寮となります。
②寮生としてふさわしくない行為があった場合、退寮となることがあります。
③入寮申し込みの際には、必ず入寮案内で詳細を確認してください。
④不明な点は、学生支援課(TEL 03-6455-2756)までお問い合わせください。

■その他

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項
入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(インフルエンザ、麻疹，水疱瘡等)に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染の恐れが ありますので、原則として受験を御遠慮願います。ただし，病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めた場合は，この限りではありません。
なお、上記により受験を御遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調管理については十分に注意してください。

個人情報の取り扱いについて
①本学は、志願者の出願書類に記載された個人情報および入学試験の成績を入学試験業務に利用します。なおこれらの個人情報は個人情報保護法に則り万全の態勢で管理します。
②本学は、上記の個人情報を大学入学者選抜および大学教育の改善のための調査・研究や学術研究の資料としても利用します。調査・研究結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。
③本学は、願書記載事項のコンピュータ登録業務、受験票、合格証、入学手続書類等の発送の業務を、個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者に委託する場合があります。

東京音楽大学

【中目黒・代官山キャンパス】
〒153－8622　東京都目黒区上目黒 1－9－1

【池袋キャンパス】
〒171－8540　東京都豊島区南池袋 3－4－5

ホームページアドレス　https://www.tokyo-ondai.ac.jp/

問い合わせ先：03－6455－2754（入試課直通）　月曜日～土曜日 9:00～17:00
03－6455－2774（FAX）